

線引き箇所について、誤記を削除しました
※正しくは、２０２６年９月２０日まで

様式第1号(第6条関係)

迷路のまちチャレンジラボ
～まちの未来をつくる小さな実験『寄り道大作戦』～
応募用紙

※手書きでも、パソコン入力でも、どちらでもOKです！

1. あなたのことを教えてください(応募者情報)。□がある項目は、いずれかに☑してください。

項 目	記入欄
お名前(ふりがな) ※グループ・団体の場合は代表者名	
グループ・団体名 ※個人の場合は空欄でOK	
ご職業・学校名	☐ 高校生 学校名: 部活・クラス: ☐ 大学生・専門学生など 学校名: 部活・ゼミなど: ☐ 社会人・事業者・その他:
ご住所・所在地	☐ 土庄町 ☐ 小豆島町 ☐ その他() 〒
連絡先(メールアドレス)	
連絡先(電話番号)	

2. あなたの「やってみたいこと」を教えてください(事業内容)。

Q1. お店の名前(プロジェクト名)を教えてください。(決まっていなければ「〇〇のカフェ」「〇〇の展示」などの仮名でOK)

--

Q2. 具体的にどんなことをしますか？(いずれかに☑、複数もOK)

- ☐ あつまる・しゃべる(ボードゲーム、休憩スペース、小さな図書館など)
☐ つくる・見せる(イラスト・写真展示、音楽・ダンス、ワークショップなど)
☐ たべる・うる(限定テイクアウトカフェ、フリーマーケットなど)
☐ その他(具体的に:)

Q3. 詳しい内容を教えてください。

(何を展示する、何を売る、どんなふうに過ごしてもらうかなど、自由に書いてください。イラストなどを別紙で付けてもらえると分かりやすく嬉しいです。)

3. 「寄り道大作戦」の作戦を教えてください。(今回の重要ポイント)

Q4. 【目的地化】お客さんに「わざわざ迷路のまちのこの場所に来てもらう」ために、どんな工夫やアピールをしますか？

(例: インスタでの告知、ここにしかない限定商品をつくる、学校の友達をたくさん呼ぶ など)

Q5. 【滞留化】お客さんに「のんびり長居してもらう」ために、お店の中にどんな居心地の良い工夫をしますか？

(例: お店の前にベンチを置く、クッションを並べる、おしゃべりできるお茶スペースをつくる など)

4. 希望するスケジュールと、10万円の使い道

Q6. いつ、何日間くらいやりたいですか？(現時点の希望でOK)

- 希望の日数: ☐1日だけ ☐週末だけ(2~3日間) ☐1週間くらい ☐1ヶ月程度
- 希望の日程: 年 月 日 ~ 年 月 日 の期間

Q7. 社会実験支援金は何に使いたいですか？(予定で OK)

(※ベンチやいすの用意、居心地を良くする照明や装飾、看板の材料費、限定品の試作費などに使えます。)

使いたいもの	
だいたいの合計金額	約 円

5. 同意の確認(18歳未満・高校生の方のみ)

18歳未満の方が応募する場合は、保護者の方または学校の先生(部活の顧問など)に同意をもらってください。

保護者または先生のサイン	⑩ 続柄・関係：
--------------	-------------